



君たちは輝く9年生だ



5年の頃からみんなを見ていました。スポーツフェスティバルであの難関な競技「がたごとキャタピラー」で盛り上がったのをよく覚えています。あの頃から潜在力がある学年だと思っておりました。9年では見事、サッカー部ベスト8、バスケットボール部2年連続ベスト16、吹奏楽部夏のコンクール金賞、クオリティに磨きのかかったリアル脱出ゲームなど過去最高の結果を出してくれたのが、君達でした。これからは君たちを超えることが在校生の目標となることは間違いありません。

宇野 幸治

皆さんが4年生ときに学習発表会で5組の発表「ももたろう」に登場してくれたのを覚えていますか？急なお願いだったのにもかかわらず、また練習もほとんどない中、一生懸命に小鬼を演じてくれましたね。また、最後には5組と4年生の「EZ DO DANCE」のサプライズで会場を大いに盛り上げてくれて、発表が大成功に終わりました。その成功があり、今も学習発表会では、会場のみならず最後に踊ることを続けています。皆さんが作ってくれた5組の伝統です。

「そんなん忘れた」「知らなかった」という人もいるかもしれませんが、皆さんのおかげで今の5組があります。誇ってください。自慢してください。そして、たまに5組と一緒に踊ったことを思い出してください。きっと楽しくなりますよ。

松田 考平

まだまだ若い皆さんにはこの慶びも通過点に過ぎないはずですが、今は春からのことで頭がいっぱいだと思いますが、その更に先へ想像力を働かせながら新たなステージの一步を踏み出しましょう。

さて、サッカー部のみなさん「失敗することが出来るのは、挑戦する勇気を持った者だけ」です。行く先々で君たちの更なる挑戦と活躍を祈ります。春と夏、共に闘うことが出来てよかった。

ご卒業おめでとうございます。いってらっしゃい。

佐伯泰人

卒業おめでとうございます

卒業を前に期待と不安でいっぱいだと思いますでも、みなさんは素晴らしい力と可能性を持っています

自分に自信を持って新しい世界に羽ばたいてください

池田 英治

ご卒業、おめでとうございます。

卒業までの大事な時期が、学校が休みになって、いろんな行事も中止になり、とても残念ですね。4月からそれぞれの場所で新しい生活が始まりますが、また落ち着いたら友達と一緒に学校に来てください。皆さんとは、直接関わる機会は少なかったのですが、皆さんの何事にも一生懸命に頑張る姿に、いつも元気をもらっていました。ありがとうございました。

皆さんのこれからのご活躍をお祈りしています。

松下 健太郎



溝口 香織

ご卒業おめでとうございます。

「元気で明るくてノリが良い！！そして1番は、愛嬌があって『打てば響く』というサイコーの集団でした。今年度、初めて開晴館に来させてもらった先生の、戸惑いや不安を一掃してくれました。

他人のピンチをチャンスに変えることのできる君たちなら、己を奮い立たせるのは容易いこと。

「ピンチの後にチャンスあり」

出会えた仲間や先生とともに、これからの人生を精一杯歩んで下さい。

野崎 義博



9年生の皆さんご卒業おめでとうございます。開晴館が開校してから、初めて開晴館しか知らない卒業生が誕生しましたね。皆さんはこの9年間でどうでしたか。私がみなさんの学校生活の中で、一番に思い出させることといえば、迎える会や送る会、文化祭の取組です。いつも奇想天外で、いつも面白くて、いつもみんなが一生懸命で、いつも楽しかった取組。そんなレベルの高い取組みを、リーダーを中心にほぼすべてみんなの力で作り上げていると聞いた時は、本当にすごい学年力だなあと思いました。

ここからは個別の付き合いの話をさせていただきます。まずはサッカー部のみんな。この代は本当にサッカーが好きで、仲が良く、真面目で、そして一生懸命でした。1つ下の代の後輩がいないことで、大変なことも多かったし、満足に紅白戦もできない状況でしたね。ただすべての事を自分たちでやってきたチームだからこそその“団結力”があつた春の大会のベスト8につながったのではないかと思います。「合同チームでベスト8」このようなことがこれまで京都市でもあまりなく、他の中学校の先生からは本当にびっくりされました。「開晴の子たちは本当に上手だね」と言ってもらえるのが私は誇らしかったです。

そして最後の大会、多くの学年の先生や校長先生、教頭先生方が応援に来てもらったの修学院戦。まずこんなに多くの人に来てもらえるなんて、本当にサッカー部の子たちは愛されているんだなあと思いました。PK戦の末、敗戦が決まった時の本当に悔しい皆の顔が思い出されます。たださすがサッカー部のみんな、切り換えがびっくりするほど早く、15分後にはみんなで楽しそうに記念撮影していましたね。おそらく持っているものをすべて出し切ったからなのかもしれませんね。みんなのキラキラした顔が今でも忘れられませんし、私の一生の宝物です。3年間ありがとう。また練習に来てね。

サッカー部の次に付き合いが長かったのは、児童生徒会本部の人たちです。長い人で2年間、ほとんどの人が1年間で、1週間に1回の集まりでしたが、活動内容が濃厚過ぎて、ずっと一緒にいたような気もするし、忙しすぎて深い記憶にない気もするし・・・まあとにかく大変でしたね。みんなの学年の本部はどの人も本当に力を持っていて、しかもその力の出し方にバラエティーがあり、どんなこともうまくいく気がしました。本部ミーティングではすべて会長が回し、自分たちですべての運営を行っていくスタイルを取りました。まあ途中からは続かないかもしれない・・・と正直思っていた私を、しっかりと裏切ってくれました。1年間そのスタイルが継続できたのは、まぎれもなく会長の力と、まぎれもなくそれについていくみんなの力だと思いました。学年でもきみたちがリーダーとなって頑張っているのが本当にうれしかったです。一番の思い出は、文化祭の劇です。Oから本当にすべて自分たちで行い、とても短い練習時間の中で、あのクオリティーまで仕上げてくれました。

「wake up ～目覚めよ～」あの声が今でも思い出されます。本当に楽しかったですね。ゾーン30交通安全の日も、府内（全国？）で初の取組に取材陣がざわついていましたね。開晴館の伝統となり、全国にこの活動が広がり、悲しい事故が皆さんのおかげでなくなる日が来るといいですね。

最後に、その他のみなさん。なんかわからへんけどいきなり話しかけても、笑顔で返答してくれましたね。なんかわからへんけどいきなり怒られても、しっかり話を聞いてくれましたね。この学年の人懐っこさで、直接的な関係があまりない人ともいっぱいしゃべることができました。その一つひとつが思い出です。

学年が違うにもかかわらず、この文章を書きながら涙が止まらないのは、少ない日々の中でこのような素晴らしいかわりがあったからだだと思います。みんなの姿がこの開晴館から無くなるのは、本当にさみしい事ですが、これからのご健闘を期待して、お別れしたいと思います。9年生ありがとうございました。

青木 邦晃